

## 第3回シンポジウム あれから5年

# ～わたしたちはフクシマを忘れない～ —帰還を巡る諸問題—

東日本大震災発生から5年半が経過し、避難元地域では帰還政策が進められています。避難者は、「強制避難者」から「帰郷者」となるのか、「自主避難者」となるのか、あるいは「移住者」となるのか、選択を迫られます。他方では、表面的には何らかの判断を下しながらも、避難元であるふるさととどのようにつながっていくべきか、つながっていけるのかという心の葛藤も生まれます。今回のシンポジウムでは、帰還を早めて早期に避難元地域を復旧しようとする動きのなかで、住民を取り巻く状況とそこで生じる課題に焦点をあて、福島の実状について理解を深めるとともに、われわれができることについて一緒に考えていきたいと思えます。当事者あるいは支援者として活動されている3名を報告者にお迎えし、それぞれの取り組みをご報告いただきます。

### ◆司会

長田 攻一（シニア社会学会理事、「災害と地域社会」研究会座長）  
川副早央里（早稲田大学文化構想学部現代人間論系助手）

### ◆報告者

遠藤義之（富岡町いわき地区広域自治会「さくらの会」事務局、(株)観陽亭代表取締役）  
高坂 徹（NPO法人「かながわ避難者と共にあゆむ会」副理事長）  
多田曜子（復興ボランティア支援センターやまがた事務局）

### ◆コメンテータ

浦野正樹（早稲田大学教授、早稲田大学人文科学総合研究センター〈現代社会の危機と共生社会創出に向けた研究〉部門代表）  
松村 治（早稲田大学地域社会と危機管理研究所研究員）  
伊藤まり（福島県浪江町民）

日時：2016年11月19日（土）14：00～17：00

（※終了予定）

場所：早稲田大学戸山キャンパス

33号館低層棟6階第11会議室（地下鉄東西線早稲田駅より徒歩5分）

申込み方法：氏名・連絡先を明記し、メール（[jaas@circus.ocn.ne.jp](mailto:jaas@circus.ocn.ne.jp)）  
または電話&FAX（03-5778-4728）にてシニア社会学会事務局までご連絡ください。

参加費：無料

共催：一般社団法人シニア社会学会「災害と地域社会」研究会・早稲田大学総合人文科学研究センター〈現代社会の危機と共生社会創出に向けた研究〉部門

後援：早稲田大学地域社会と危機管理研究所